

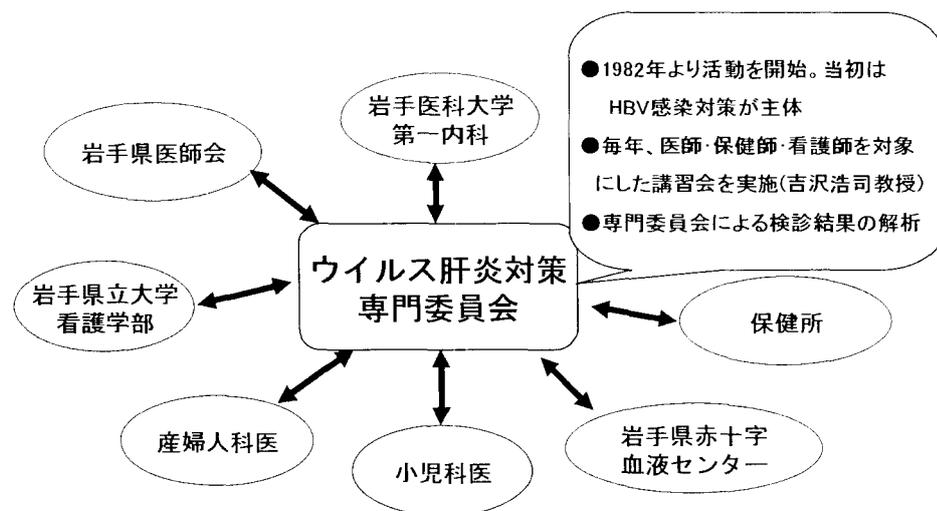
厚労省健康局疾病対策課  
第1回「全国肝炎診療懇談会」

## 岩手県における肝炎検診・診療の現況

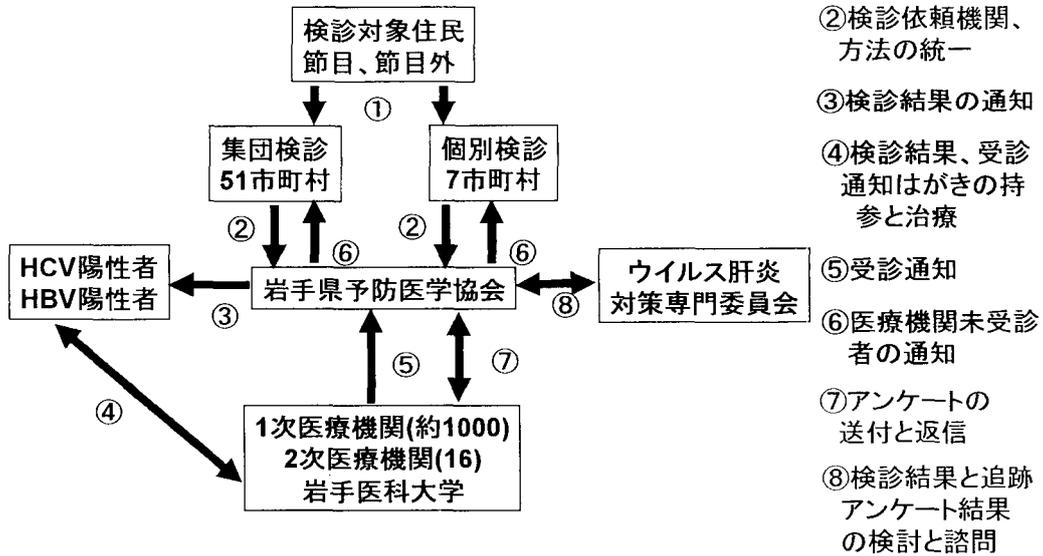
鈴木 一幸  
岩手医科大学 第一内科

平成18年6月7日、東京

### ウイルス肝炎対策専門委員会組織 - 岩手県 -

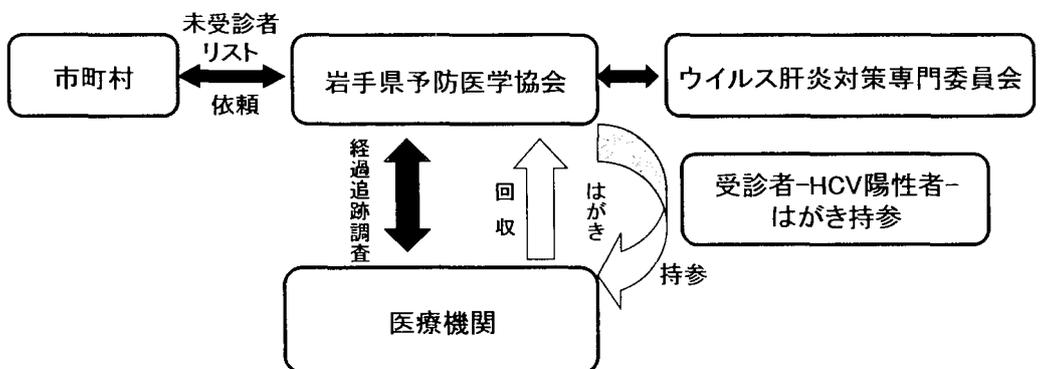


## 肝炎ウイルス検診体制(岩手県)



## HCVキャリア追跡調査の流れ

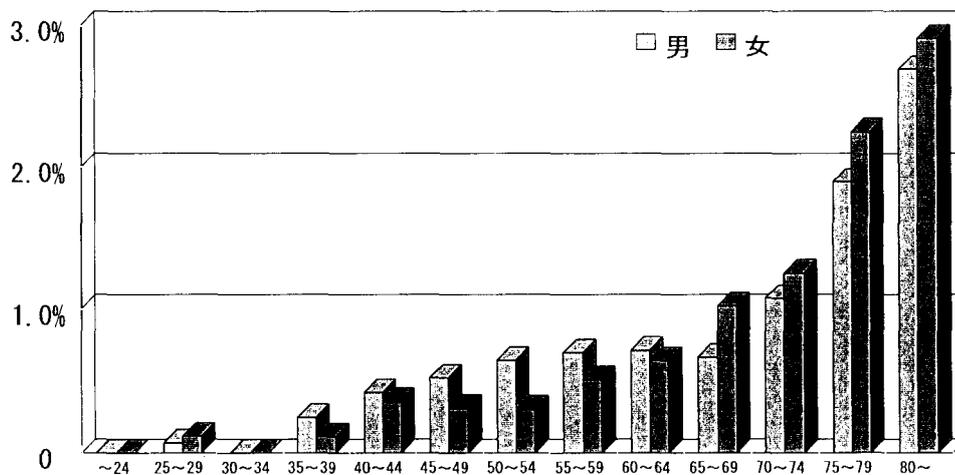
- ・はがきによる HCVキャリア の医療機関 受診率 調査
- ・医療機関へのHCVキャリアの経過追跡調査(年1回)



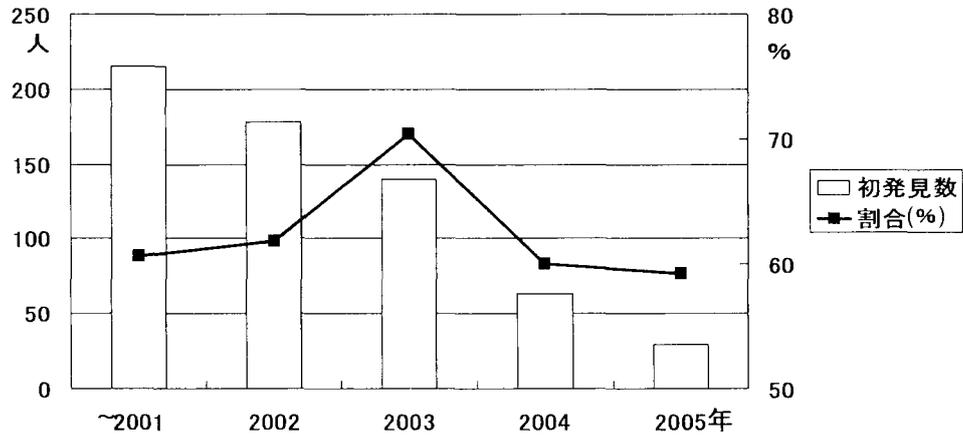
## 検診実施状況と結果

- 1996年度から2001年度までは19市町村(岩手県の32.8%の市町村)で肝炎検診を実施していた。90859人(岩手県の40歳以上の人口の11.8%)に検査を実施し、943人(1.04%)のHCV陽性者であった。
- 2002年より開始された肝炎検診の市町村における実施率は2003年以降は100%である。
- 2002年4月～2005年3月までの3年間で20～89歳の受診者数は166,572人であった。この数は岩手県の同年代の人口の15.0%である。40～89歳で見ると、受診者数は151,003人で、同年代人口の19.3%を占める。
- 基本健康診査、職域検診、1日人間ドックを合わせた受診者におけるHCV陽性率は、全体では0.76%(1,265/166,803)で男女とも年齢層が高くなるにつれて陽性率は高い。男性0.73%(548/75,313)、女性0.78%(717/91,490)。
- 検診種別では、男性は職域検診と1日人間ドック(55.2%)に依存する率が高く、女性は老人保健法基本健康診査肝炎ウイルス検診(72.1%)に依存する率が高い。

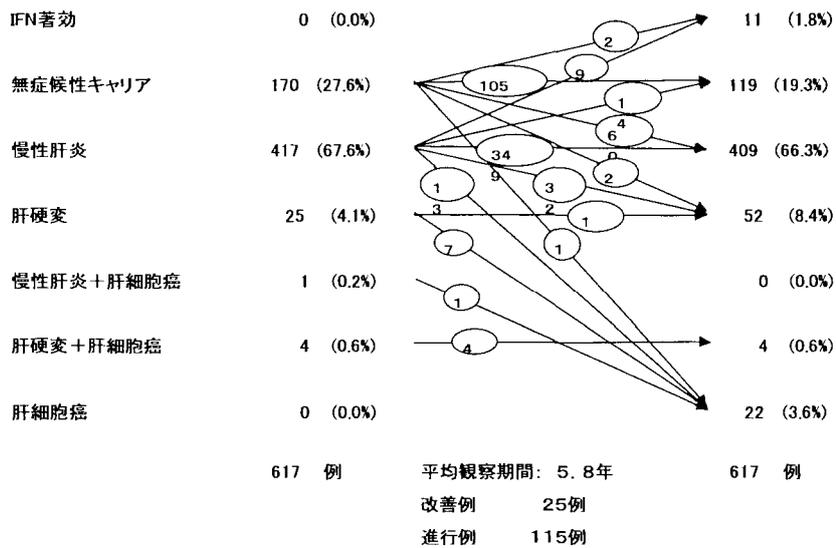
HCVキャリア率—性・年代別—  
2002年4月～2005年12月  
基本健診・一日人間ドック・職域健診



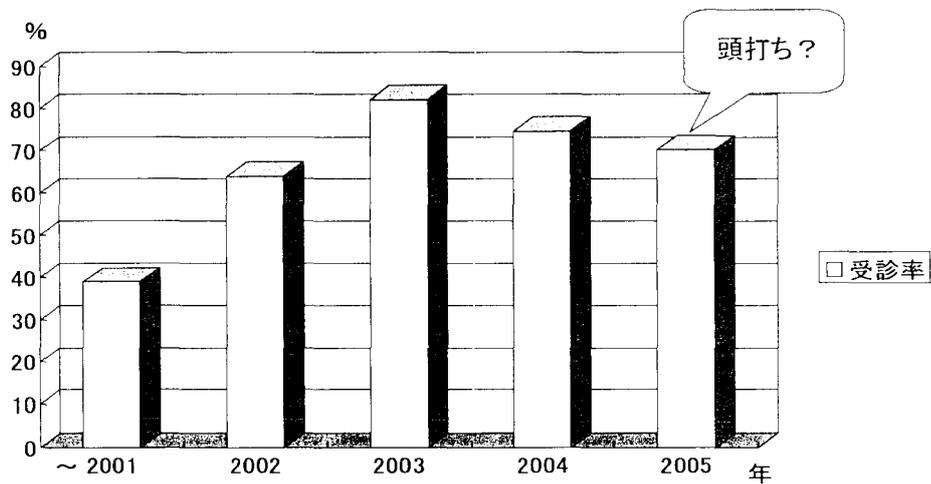
## 新たなHCVキャリアの発見数と発見率



## 臨床診断名の変化

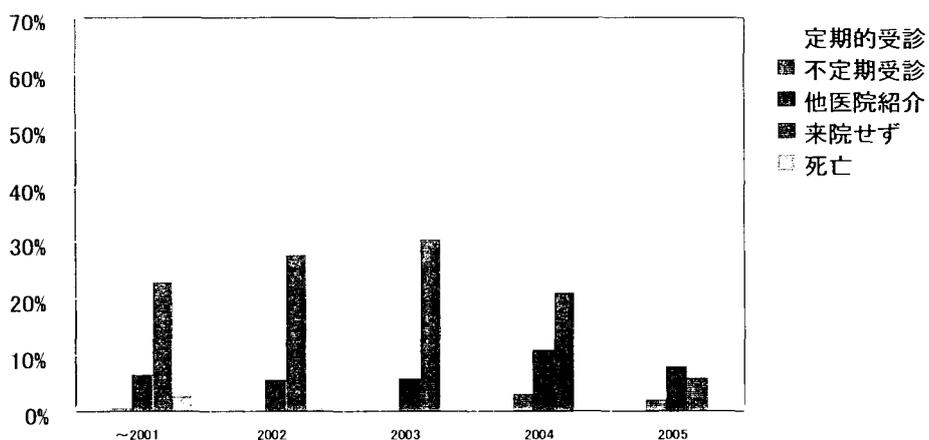


## 医療機関への受診率(アンケート調査)

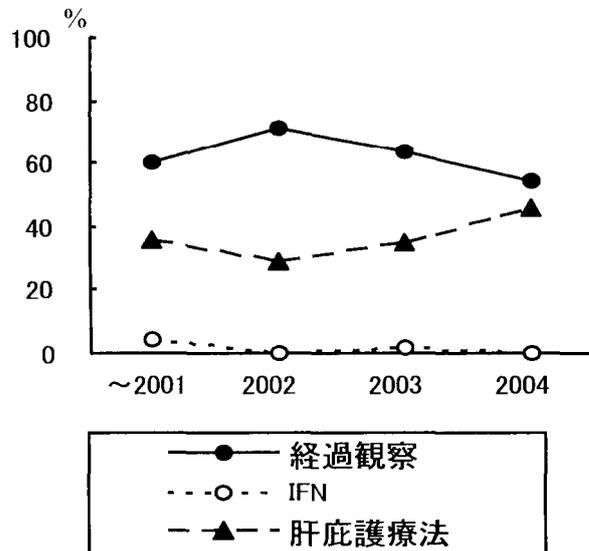


アンケート回収率: 67.9~72.2%

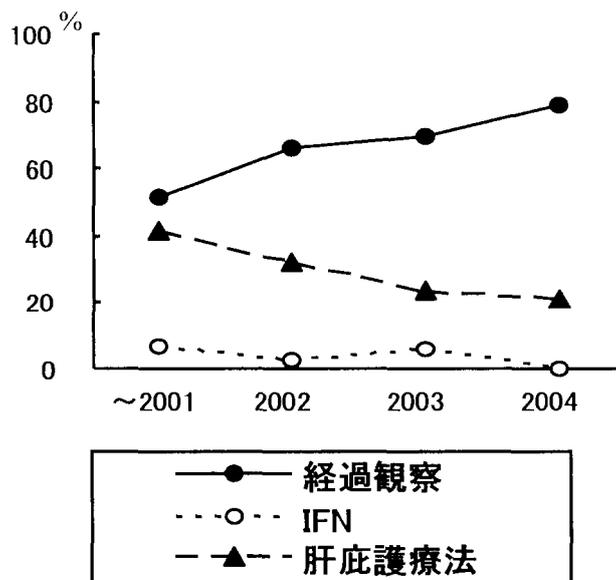
## HCVキャリアの医療機関受診状況



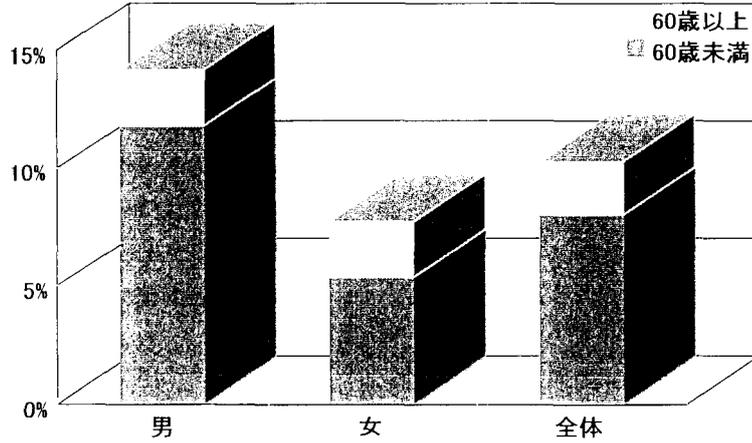
### 治療法の比率(1次医療機関)



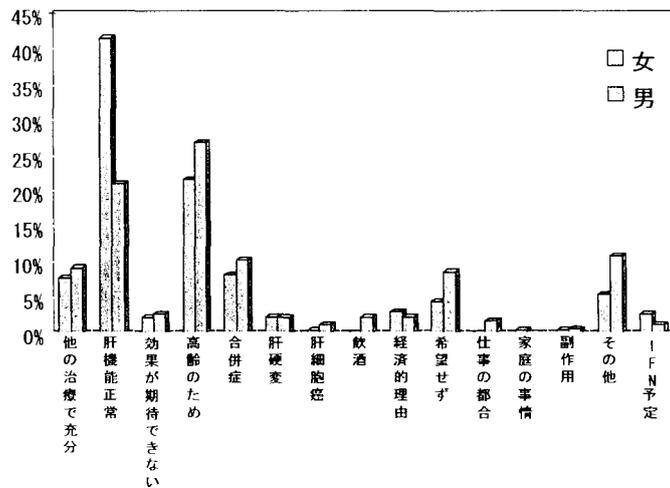
### 治療法の比率(2次,3次医療機関)



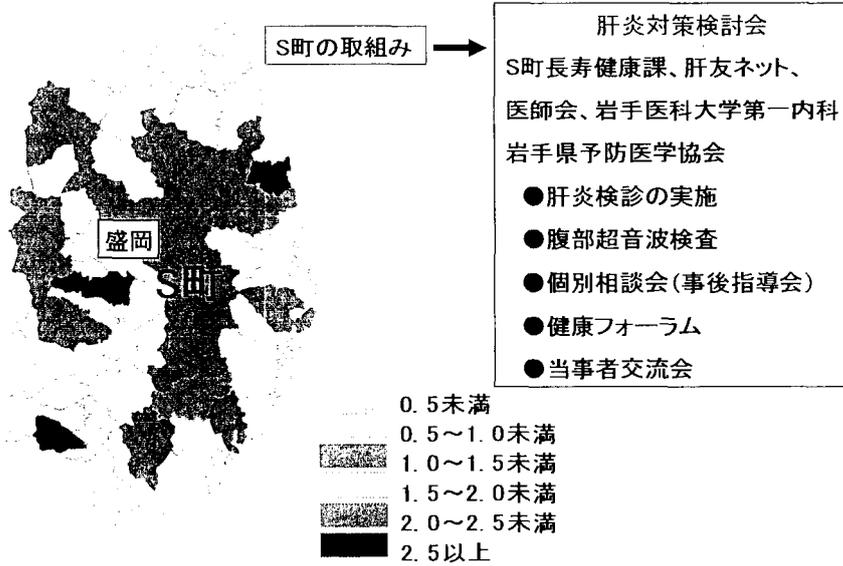
## HCVキャリアのIFN治療実施率



## HCVキャリアにおけるIFN治療非施行の理由

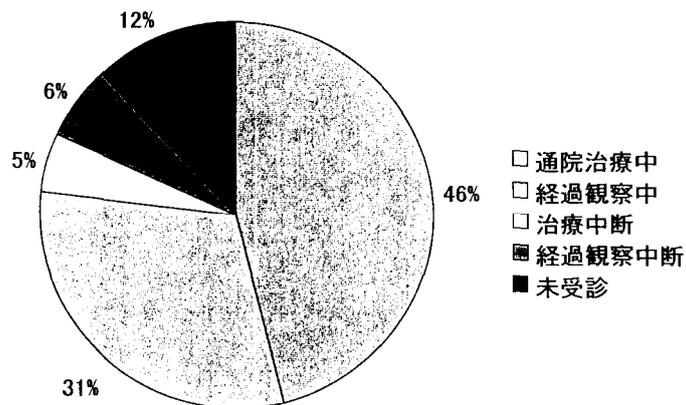


# 岩手県のHCV高感染地域



# 受診状況についての調査

高感染地域でのアンケート調査



## 医療機関未受診者の理由

治療や経過観察が必要と思わなかった	24%(12/50例)
自覚症状がないから	48%(24/50例)
医師から異常がないと説明されたから	18%(9/50例)
仕事が忙しいから	4%(2/50例)
夜間診療の医療機関がないから	0%(0/50例)
常勤の専門医がないから	0%(0/50例)
経済的に大変だから	0%(0/50例)
その他	3%(6/50例)

高感染地域S町

## 検診体制の構築

